

## 生活科実践ライブラリー

号	実践名	学年	実践者	内容
2	1	アヒルさんとなかよし	1 久保田 好文 白田小学校	アヒルとのくらし。産卵をめぐっての子どもたちの具体がおもしろい。
	2	新聞迷路の町	2 市川 俊一 岩村田小学校	生活科スピリッツとは何かを学級通信を通して示唆してくれる。
	3	がっこうたんけん ちずをつくろう	1 山田 亨 高島小学校	入学期の学校探検における調べる活動のあり方について提案。
	4	野菜作り探検隊	2 田添 荘文 三穂小学校	地域の方々とのふれあいを通して、活動が子どものものになっていくまでをR男の具体から示唆。
	5	先生となかよし	1 田添 荘文 三穂小学校	入学期、先生とのかかわりを深めていくための具体的な支援や場の構成について示唆。
	6	みんなともだち	1 持田 由美子 高山小学校	入学期、泣いてばかりのKくんにまつわるできごととその成長の途上を報告。
	7	おげんきですか	2 上條 悦子 広丘小学校	クラスの素材にかかわる体験から子どもの意識により添って、伝える喜び、待つ楽しさが伝わってくる。
	8	手作りはがき	2 中山 陽子 鎌田小学校	教師の思惑と子どもの意識とのズレをどうとらえていけばよいのか、素材とのかかわりの大切さを示唆。
	9	真理さんへの手紙	2 田中 敏子 丸子中央小学校	中国に転校した真理さんからの手紙と、思いがけないメッセージテープが子どもの思いを高めた実践。
	10	新聞紙となかよし	1 松木 彩 三穂小学校	新聞紙と身近な材料を使って、子どもに寄せた教材研究をし、材料と用具の与え方に配慮した授業。
	11	たなばたさま	2 林 司 浜井場小学校	七夕の活動からN子の自己評価の変化をつぶさに見とり、N子の育ちと支援のあり方をまとめた実践。
	12	わたしたちのあき	1 吉澤 秀 飯山小学校	いつもの遊び場（城山）を核として野に出る活動を展開し、秋から冬にかけてどう自然とかがわかるか。
	13	ぼくらのふね	2 熊井 恵子 梓川小学校	船作りをするとき、設計図づくりやグループづくり・教師の支援のあり方の難しさを提案。
	14	牟礼村たんけん	2 外谷 政子 牟礼東小学校	ふるさとにどうかかわり、どんな活動を作っていけばいいかを、教師の戸惑いをからめて綴った実践報告。
	15	“船”から手作りはがき作り	2 大月 礼子 広丘小学校	船作りから牛乳パックのはがき作りへと発展した学習。教師の願いと子どもの意識とのズレを問題提起。
3	16	バスに乗って遠足に行こう	2 大月 ひろこ 会田小学校	決められたところへ行く遠足ではなく、自分たちで調べ、計画した遠足で初めての体験をし、新しい発見の喜びが伝わってくる。
	17	1年2組のたなばたまつりをしよう	1 北原 すみ子 開明小学校	「みんななかよし」というクラスの願いが、七夕まつりでも大事にされ遊びながら作られていった実践。
	18	あそぼう みんなのわくわく広場	1 安藤 晴夫 三本柳小学校	耕地内の幼苗植栽地で、子どもの期待や願いを生かしながら遊びを展開する支援を試みた授業。
	19	わたしたちの小麦粉料理	1 百瀬 薫 三本柳小学校	自分で作った小麦粉を味わう調理『小麦せんべい』の授業。子どもが自主的に動ける場の設定や支援を提案。

	20	科野の宿	2	市川 真理子 戸倉小学校	戸倉福祉センター「科野の宿」のお年寄りの方と遊ぼうと子どもたちがふれあいを求めて行った実践。
4	21	お世話になった人たちにプレゼントをおくろう	1	米澤 美穂 松川北小学校	カボチャやヒョウタンの特性を生かしながらプレゼント作りを工夫させようとした実践。
	22	みんなで遊ぼう たまがわばやし	1	鈴木 修司 玉川小学校	玉川林で自分たちの手で環境を生かした遊びを作り、遊び込むことから自然とのふれあいを深めようとした実践。
	23	ぼくらの遊びのきちづくり	1	荻原 実 篠ノ井西小学校	身近な材料を集め、教室前のフリースペースに遊びの基地を作る活動。
	24	秋と遊ぼう「ニツ柳神社の招待状」	2	古澤 望 篠ノ井西小学校	ニツ柳神社で得意な遊びを見つけた子どもたちが、友達からの招待状をもとに友達とのかかわりを深めながら、思い切り遊びに浸る活動。
	25	みんなで遊べる遊び場を作ろう	2	北澤 淳子 伊那北小学校	遊び場を作り、そこで遊びこんできた子どもたちが、友と協力し合い、もっと安全に遊べるための工夫を追及する実践。
	26	ゆかいたで、記念品を作ろう	2	藤井 真 神明小学校	校舎取り壊しにあたり、床板を使って記念品を作る活動の中で、作品作りへの思いを高める場面の実践。
	27	どんぐりを楽しもう	2	藤澤 隆之 旭ヶ丘小学校	1年のどんぐり遊びから活動が広がっていく実践。探検の計画、電車の利用、地域の人とのふれあい、料理など子どもの願いや自主性を生かした展開を試みている。
	28	こんにちは そばさん	2	上條 美紀 鬼無里小学校	鬼無里の自然を生かし、自分たちで育てたそばを粉にし、地域の人から教えてもらったことをもとにして、自分で考えた調理をする活動。
5	29	子どもの森まつりをしよう	2	櫻井 幸子 村上小学校	今までの体験をもとに、自分たちの願いを込めたお祭りの実現に向けて取り組んだ実践。
	30	わたしたちの手づくり太鼓	1	大日野 昭美 富県小学校	自らの思いを自由に表現できるようになるために、教師が家庭とのコミュニケーションを取りながら、子どもへの支援のあり方を追求した実践。
6	31	たんぼぼコーヒーを作ろう	2	原 恵子 松代小学校	たんぼぼで遊び、たんぼぼの根からコーヒーが出来ることを知った子どもたちが、根を掘り、自分の願いに添ったたんぼぼコーヒー作りに取り組んだ実践。（三本柳小での実践）
	32	あきとなかよし	1	乾 孝雄 綿内小学校	秋の自然とかわる中で、夢中になってイナゴをとり、つかまえたイナゴを自分で調理する活動を通して、活動の楽しさや喜びを味わわせた実践。
	33	みがいっぱいになあれ、あきそばくん	2	矢島 綾子 源池小学校	秋そばとの対話をしながら、世話・収穫・調理などの活動をしていくことを通して、活動を支えてくれる人々や活動への思いを深めていく実践。
	34	秋とあそぼう	2	室賀 央枝 綿内小学校	夏の草花遊びを楽しんだ子どもたちが、季節の移り変わりを感じながら、秋の草や実で遊ぶ中で、五感を通して身近な自然とかわった実践。
7	35	しゅうかくいわい	2	上條 美紀 開智小学校	借りた畑で大豆を育ててきた子どもたちが、達人のようなきなこを作りたいと願い、自分たちが考えた潰し方やすり方できなこを作り上げていく実践。

	36	つくってあそぼう あきまつり	1	玉水 智香子 芝沢小学校	保育園の年長児との交流を積み重ねてきた子どもたちが、保育園や地域で位置づいている「あきまつり」を一緒に計画して楽しんでいく実践。
	37	あたらしいウコッケイをむかえよう	2	田村 中 山ノ内西小学校	2年生になり、ニワトリさんの世話をするようになった。秋、新たにウコッケイを迎え入れることになった子どもたちは、自分たちの世話に仕方を振り返って、どんな準備が必要か考え、一羽一羽のニワトリさんをより大切にしようとした実践。
	38	わたしたちの川をつくってあそぼう！	1	後澤 宏文 古間小学校	日頃、川遊びをしたことのない子どもたちが、教室の前に牛乳パックで川を作り、カワニナを育てたり、手作りの笹舟を流して遊んだりする活動。さらに土を掘り、もっと丈夫で長持ちする川を作り、ダイナミックに遊びこんでいく活動の実践。
	39	はなれ山 チャレンジウォークをやるう	2	桜井 直子 豊丘小学校	自然豊かな地域性を生かして、学校の裏山探検をしてきた子どもたちが、ウォークラリーを工夫して作った遊び、自然や友達との活動を楽しんだ実践。
8	40	うら山であそぼう	2	山口 雅美 豊栄小学校	うら山でアスレチックや木登りをして遊びたいと願った子どもたちが、自然や身近な素材を使ってダイナミックに自分の遊び場を工夫して作り上げていった実践。
	41	落花生が危ない モグラ・ネズミ追い出し大作戦	2	上野 美直 仁礼小学校	落花生をモグラやネズミから守ろうと願った子どもたちが、調べたり考えたり道具を作ったりする中で、落花生に寄せる愛情を深めていった実践。
	42	わたしの町、大すきをつたえよう	2	諏訪 みずほ 治田小学校	おじいさんおばあさんに、町探検で発見したことを伝えようと願った子どもたちが、まとめ、発表していく中で、友達と協力していく良さに気付いていく実践。
	43	小海たんけんたい	2	平林 若恵 北牧小学校	小海町の人々や自然・ものに興味をもった子どもたちが、探検を通して発見したことや感動したことをまとめ、表現していく中で、自分たちの町に愛着を感じていった実践。
	44	あきまつりをしよう	1	嶺村 至 池田小学校	みんなで作って楽しもうと願った子どもたちが、秋祭りに向けて友達と相談しながら、お店屋さんを工夫して作ったり遊んだりしていった実践。
	45	3組にこにこまつりをしよう	2	大和 明美 芳川小学校	祭りを計画し、準備してきた子どもたちが、工夫して祭りを作り上げていく中で、友達の良さに気づき、楽しさを味わっていく実践。
	46	森のゆかいなしぜん公園～公園まつりをしよう～	2	中澤 容子 樋川小学校	自分たちだけでなく、公園に来てくれた人にも喜んでもらおうと願った子どもたちが、友達とのかかわりを通して招待状を作ったり、公園を飾ったりしながら楽しんで活動していった実践。
	47	「森林と遊ぼう」～『べとべとやま』であそぼう～	1	浦山 哲雄 白石 英華 南箕輪南部小学校	べとべと山でダイナミックな遊びをし始めた子どもたち。友達と遊びながら自分の遊びを広げていった実践。

	48	ハロハロ日本 いろいろおやき	2	小平 伸子 高遠北小学校	フィリピンのお料理を教えてもらった子どもたちが、今度はチャリトさんや自分の家族に、日本の味を紹介しようと願い、楽しいおやきパーティーを作り上げていった実践。
9	49	カレーライス大作戦	2	内藤 里枝子 浅科小学校	自分たちが育ててきた野菜でカレーを作り、家の人に食べてもらいたいと願った子どもたちが、アイデアを出し合ったり、協力したりしながら、がんばってきた自分たちの成長を実感していった実践。
	50	わたしたちのやさいをそだてよう	2	渡辺 千里 (上田市立)南小学校	自分たちで育てた野菜で料理をしようと願った子どもたちが、調べたり、振り返ったり、工夫したりしながら料理に取り組んでいった実践。
	51	みんなに見てもらいたい 2 - 1 の花ばたけ	2	宮沢 元 永明小学校	自分たちが育てた花ばたけをさまざまな人たちに見てもらうために、手入れをしたり、宣伝活動をしたり、振り返ったりするなかで、楽しさや喜びを味わい、自分や友達のよさに気づいていく実践。
	52	おおきなあれ ぼくのわたしのやさいさん	1	鈴木 修司 伊那小学校	一人ひとりが畑を作り秋野菜を育てたいと願った子どもたちが、野菜作りの専門家の方の智恵に学びながら、野菜の成長に心を寄せて、世話をしていく実践。
	53	おじいちゃんおばあちゃんにポップ コーンを食べてもらおう	1	大平 直美 大野 佳子 高森北小学校	おじいちゃんおばあちゃんに喜んでもらえるようなポップコーンのお店にしたいを願った子どもたちが、さまざまなことを試しながら、友達と協力して店作りに取り組んでいった実践
	54	作って食べよう ほう葉まき	2	山本 真望 蘭小学校	一年生においしいほう葉まきを作ってあげたいと願いをもった子どもたちが、前回の活動を生かして工夫をしたり、おばあさんに教えていただいたりすることを通して自分のほう葉まきを作る実践。
	55	わたしたちのあきまつり	1	小林 早恵 片丘小学校	あきまつりをやりたいと願った子どもたちが、友達や保護者、地域の人々とかかわりを深めるなかで、工夫して山車や田楽作りをしたり、共に作る楽しさを味わったりする実践。
	56	ぼくらのこうぼう山さん	2	祝迫なおみ 並柳小学校	身近な自然とかかわりあいながら、友達に楽しんでもらおうと願った子どもたちが、遊園地作りに取り組み、工夫をしたり宣伝をしたりすることで、友のよさ、自分のよさに気付いていった実践。
	57	あきをたのしもう	2	小山 香織 埴生小学校	身近な自然とかかわりを通して子どもたちが、四季の移ろいを感じ、体いっぱい味わい、自分たちの遊びをつくり出していった実践。
	58	ぼくらのきちをつくろう	1	佃 啓光 永田小学校	ぼくらのきちをつくろうと願った子どもたちが、身近な自然やものの利用、工夫をすることを通して、季節の移ろいを感じ、より深く自然とかかわっていく実践。
	59	ぼくたちの学校林であそぼう	1	横澤 美奈子 信里小学校	学校林の自然に親しみながら遊んだり、工夫したりして、友達と一緒に楽しく遊ぶ実践。

	60	手作りおもちゃ名人になろう	2	小林 創造 中込小学校	手づくりのおもちゃランドを開き遊びたいと願った子どもたちが、工夫して遊び方を考えたり、紹介し合ったりすることを通して友達と遊びを創り出していく実践。  (平成17年度・生活に根ざす信州総合・生活科教育件研究佐久大会)
10	61	野草クッキーをつくろう	2	森山 忍 佐久市東小学校	学校周辺で摘んだ野草を入れておいしいクッキーを作りたいと願う子どもたち。分量や調理の仕方を工夫し、手作りの段ボールオープンを使ってクッキー作りをしながら子どもたちが身近な自然を感じていく実践。
	62	ゆめの森であそぼう・夏!	2	峯村 玲子 塩田西小学校	四季を通して「ゆめの森」に親しんでいる子どもたちが、ゆめの森で基地作りやままごとをしたり、他の学級の友達を招待して楽しみを共有したりしながら、友達や自然に存分にかかわっていく実践。
	63	つくろう!手づくりきなこのよもぎだんご	2	平林 正也 田中小学校	春のよもぎだんご作りできなこに興味をもった子どもたちが、自分たちで育てた大豆できなこを作り、冷凍したよもぎを使ってよもぎだんごを作る実践。
	64	しゃぼんだまをつくってあそぼう	1	関 あゆみ 辰野東小学校	夏の遊びで、シャボン玉遊びに興味をもった子どもたちが、道具や遊び方を工夫して自分の願うシャボン玉を作り、友達と一緒に楽しむ実践。
	65	大豆さんの収穫に向けて	2	西原 晃司 阿智第一小学校	大豆が成長する過程での様々な問題点について、考え、世話をしてきた子どもたちが、大豆も自分と同じように栄養をとりながら成長することや大豆を取り巻く環境に気付き、一粒一粒の大豆を大切に収穫していく実践。
	66	ポップコーンパーティーをしよう	2	佐野 慶子 塩尻東小学校	ポップコーンを育ててきた子どもたちが、身近な人を招待してパーティーをしたいと考え、ポップコーンの皮で紙漉きをしてプレゼントを作ったりポップコーンの味付けを考えたりしながら、みんなで喜びを共有していく実践。
	67	つくって食べよう～ネバネバ大きくせん～	2	田口 ひろみ 松川小学校	収穫した大豆で納豆を作ってみたいと思った子どもたちが、図書館などで作り方を調べ、作り方別のグループに分かれて試行錯誤しながら納豆を作る実践。
	68	大豆を味わおう～きなこだんごをつくろう～	2	浅井 かよ子 五加小学校	春のよもぎだんご作りの経験を生かして、きなこのだんごを作りたいと願った子どもたちが、大豆の煎り加減や道具の使い方を工夫しながらふわふわのきなこを作る実践。
	69	買ってもらえるような自分の自慢のおやきをつくろう	6	佐藤 真理子 小山小学校	育てた小麦でおやきを作りたいと考えた子どもたちが、作り方を調べたり、中に入れる具を畑で栽培したりしながら、人に買ってもらえるようなおやきを目指して一人一人が繰り返しおやきを作る実践。
	70	えびす山であそぼう	1	佐藤 里香 延徳小学校	学校で木登りなどを楽しんできた子どもたちが、学校近くにあるえびす山に興味を持ち、これまでの経験を生かしながらターゲット遊びや基地作りなどをダイナミックに展開する実践。

	71	牛乳パックではがきをつくろう	2	佐藤 富美子 柏原小学校	もらった相手が喜んでくれるようなはがきを作りたいと願った子どもたちが、パルプ液の量などを工夫しながらはがきを作り、転任した先生や一日入学に来る友達にお便りを出したりバザーで売ったりする実践。
	72	まわたのうちわをつくろう	1	清水 令子 加茂小学校	学校や地域にある桑の葉で蚕を育ててきた子どもたちが、蚕が作った繭でどんなことができるか調べ、学級の子どもの祖母から真綿の取り方を教わり、朝顔の押し花や蚕の絵を入れた真綿のうちわを作る実践。
	73	あさがおさんとの思い出を残そう	1	北島 智明 浜井場小学校	大切に育ててきたあさがおとずっと一緒にいたいと思った子どもたちが、リースや写真立て、カレンダーなどを作り、あさがおとの思い出を残そうとしていく実践。
	74	心にとどけ、みんなの思い	6	金森 晴彦 浜井場小学校	自分たちのお米で人助けをしたいという願いから米作りを始めた子どもたちが、書き損じはがきや募金など、今自分ができる活動に目を向け、相手の気持ちに思いを寄せながら新たな活動を作り出しつむいでいく実践。
	75	白毛もちづくりを完成させよう	5	藤澤 まゆみ 新山小学校	これまで大切に守ってきた白毛もち米の収穫時期を迎えた子どもたちが、害虫やスズメ、稲刈りや脱穀の方法など様々な困難に出会いながらも、地域の方に支えられ仲間と相談しながら収穫をやり遂げていく実践。
11	76	自分たちで作った菜の花油で 染め紙あんどんを光らせよう	2	山崎 秀樹 (飯山市立)東小学校	手作りの油で染め紙あんどんを光らせたいと願った子どもたち。地域の菜の花から苦労して油をとったり地元の内山和紙を染めたりして、自分だけの染め紙あんどんを完成させた。そしてみんなで明かりをともし、お月見会を楽しんだ。
	77	自分たちの小麦粉で ニラせんべいを作ろう	2	松川 かずみ 鬼無里小学校	一年生の秋に小麦の種を蒔き、育ててきた子どもたちが、収穫した小麦粉でニラせんべいを作ろうと考えた。そのために作り方やこつを聞いたり調べたりしてニラせんべいへの思いを一層ふくらませて、おいしいニラせんべいを作ることに取り組んだ。
	78	おまつりランドへようこそ	2	和泉 雅恵 青木小学校	二年生になって保育園の年長児さんと七回交流会を行ってきた。秋「お祭りランド」で、二年生はお店屋さんになり、年長児さんのことを考えながら仲良くいっしょに遊んだ。
	79	大豆くんに 今まであったことをげきにしよう	2	中野 さや美 野沢小学校	大豆を育ててきた二年生は、大豆くんの物語を作り、グループごとにシナリオを作った。セリフを練習し、みんなの劇をつなげて、大豆くんとのお思い出をふりかえった。
	80	みんなのつくった花の道	2	上原 芳則 屋代小学校	屋代の町に花を飾る活動に参加する方法を考え、通学路にマリーゴールドやサルビアなどを飾ってきた二年生。音楽会に向けて、そまでの活動や自分たちの思いを歌や劇にまとめた。
	81	おばあちゃんたちが食べていた 秋のおやつを作ってみよう	2	林 弥生 日義小学校	子どもたちは、五平餅に挑戦した。もっとおいしい五平餅を作ろうと考えて、ごはんのつぶし方、形、たれのつけ方などを工夫をした。そして、家族によるこんでもらいみんなで五平餅を味わった。

	82	段ボールで遊ぼう	1	高橋 久恵 (塩尻市立)吉田小学校	子どもたちは、たくさんの段ボールで友達と一緒に遊び始めた。自分の願いにそって、切ったり組み合わせたりしながら、遊び方を工夫し、段ボール遊びを楽しんだ。子どもたちは、材料や人とのかかわりを深めながら遊びに夢中になっていった。
	83	「森の手づくりぼうけんひろば」で 思いきりあそぼう	2	浜田 志のぶ 赤穂東小学校	学校近くの森に入り込んだ子どもたち。森の面白い地形や変化のある自然の楽しさに魅せられた子どもたちは、自分たちの手作りぼうけんひろばをつくり始める。普段あじわったことのないスリルある感覚を楽しみながら森にどっぷりつかって遊びこんでいった。
	84	年長さんと にこにこ わくわく 秋まつり	2	大鷹 宏彰 明南小学校	子どもたちは、「秋祭りをやりたい」と盛り上がっていた。そこで、年長さんを招待することを決め、招待状を出したり、お祭りづくり材料を持ち寄ったりして、年長さんも自分たちも楽しめるように考え、お祭りを創りあげていった。
	85	ニワトリさんのたまごをかえそう	1	田中 誠 波田小学校	子どもたちは、一年生からニワトリさん(雌のみ)を飼ってきた。家族を増やそうとして、雄鶏を迎えることにした。手づくりのキラキラハウスを建てたり、卵のふ化に挑戦したりした。ふ化を通して命を見つめることができた。
	86	年長さん いらっしゃい	2	関 悦子 豊丘北小学校	竹ん玉、竹とんぼ、水鉄砲など、竹を使ったあそびを教わり作ってきた子どもたちが、「今度は年長さんを招待していっしょにあそびたい」という願いをもち、グループごとにお店を準備をして、交流会を開いていった。
	87	うのちゃんといっしょに	1	植松 満幸 高島小学校	読み聞かせて知った「うりぼう」をみんなの願いで飼うことになった。えさのやり過ぎで太ってしまったうりぼうをやせさせようとしたり、うりぼうが喜ぶ遊び場を作ったりするなかで、友と工夫しながら相手意識をもって取り組んだ。
12	88	リースに思い出を込めよう	1 2	早瀬 佳代子 ・ 鳥川 正一 北相木小学校	野菜や花の栽培活動に取り組み、それを思い出に残したいと願う子どもたち。サツマイモやアサガオのつるを土台にし、材料をていねいに飾り付けながら思い出もこもったリースを作った。
	89	「スーパー気持ちを込めた 仲良しパーティー」をしよう	2	月岡 美紀 神川小学校	デイサービスセンターのおじいさん・おばあさんと出会い、交流を重ねてきた子どもたちが、おじいさん・おばあさんの長生きを祝い、喜んでもらおうとお祝いパーティーを計画した。
	90	にじぐみさんと なかよくなるろう	2	野口 亜弥 上の原小学校	保育園の年長「にじぐみさん」と遊びたいと願った子どもたちは、音楽会に招待したり、折り紙パーティーを企画したりして楽しんだ。そのなかで、保育園児に対して相手意識をもって接することができるようになり、成長してきた自分を実感した。
	91	おやきやさんをひらいて もみじまつりにでかけよう	2	永原 美香 川島小学校	おいしいおやきを作って多くの人に食べてもらいたいと願った子どもたちは、地域の「かやぶきの館」で売られているようなおやきを作りたいと考えた。そこで、長年おやきを作っている小澤さんから、この地域に伝わる作り方を教わって作り、「もみじ祭」(地域の行事)でおやきを販売した。

92	ぼくたち・わたしたちの ごまだんごをつくろう	1	中村 加津子 本城小学校	地域の方と交流を深めながら、自分たちで育て収穫したごまを使って、「だんご作り名人」を目指した。火加減に気を付けたり、すり加減を調節したりしながら、煎ったりすったりし、自分たちのごまだんごを作っていた。	
93	ぼくわたしの わくわく村	2	宮澤 絵里 白馬南小学校	学校近くのヤチダモの森に春から遊び場をつくり楽しんできた子どもたち。ヨシを使って家をつくり、遊びを展開していった。木の実屋や泊まれる農家などの遊び場ができ、そこで対象や自分自身に関する気付きの質を高めていった。	
94	さらしなっこランドで遊ぼう	1	山崎 葉子 篠田 暢彦 平原 稔久 更級小学校	学区の保育園児と交流を続け、年長さんと仲良くなりたいと願った子どもたち。年長さんと一緒に楽しく遊び、喜んでもらいたいと考え、工夫しながら一緒にゲームを作ったり遊んだりした。	
95	皮を生かして ブドウぞめにチャレンジ	2	牧野 みゆき 平岡小学校	果樹栽培がさかんな平岡。栽培に携わる地域の専門家から教わり、ブドウ栽培にかかわってきた子どもたちが、「数少ないブドウの命を無駄にしない」切実な思いから、ブドウの皮も大事にしたいと願い、ブドウの皮を使った染め物をする活動。	
96	大すき！ みや川	2	牧内 利光 日野小学校	学校付近を流れる水生生物が豊富で透明度の高い宮川。この宮川で遊んだり、魚を捕まえたりしてかわわりを深めた子どもたちが、今度は学校に自分たちの宮川をつくろうと活動を深めていく。	
97	大ずさんの大へんしん！	2	白鳥 美咲 芹田小学校	「親子豚汁パーティー」に向けて、「お家の人に喜んでもらえる豆腐を作れるようになる」と願いをもった子どもたちが豆腐作りに挑戦する。	
13	98	みるくのなかまを むかえよう	2	柳沢 奈美 坂の上小学校	一年生の六月から飼育を始めた一羽の子ウサギ「みるく」。二年生になり、「みるくのお誕生会」「みるくの小屋づくり」を経て「みるくの仲間を迎えたい」と願った子どもたちとそこに「共にあろうとする教師」のおもいを重ね合わせた実践記録。
99	ワクワク学校林ランド！	2	北島 智明 田口 恵 和田小学校	二年生十一名が、自分たちで楽しめる学校林ランドから、年長さんが楽しめる学校林ランドに生まれ変わらせようと挑戦した。「移動しやすいはしごに」「シーソーをもっと平らなところに」と年長さんへのおもいをはせ、取り組んだ実践記録。	
100	うら山なかよしランド	2	田村 恵介 城北小学校	裏山で「うら山なかよしランド」を作りたいと考えた子どもたちが、裏山の自然を利用したり友達と考えを伝えあったりしながら、なかよしランドを作った。自分の願いを持ち、遊びを工夫して楽しんだ。	
101	それいけ！たんけんたい ～あんぜんみまもりたいの かたといっしょに～	2	丸山 瑞穂 箕輪中部小学校	地域探検の活動を通して、自分たちの住む地域の良さを実感した。また、一緒に探検して下さった安全見まもり隊の方々と交流することを通して、地域の人々の温かさ感じた。	



	102	やぎさんといっしょ	2	阿部 良子 松尾小学校	四月の地域探検で牛やポニーと触れ合ったことをきっかけに、生き物を飼いたくなった子どもたち。話し合いを重ねる中でやぎのたろうくんとの生活が始まる。たろうくんとの生活から生まれてくる様々な問題をみんなで相談し、思いを共有しあって解決しようとしていく。
	103	大豆を収穫して、 大豆のお料理をしよう	2	三澤 葵 三岳小学校	二年生になって初めて自分たちの力で育てた大切な大豆さん。その大豆を収穫して、みんなで加工や調理して味わうことで、新たな大豆の魅力を発見するとともにできた料理を自分で味わう楽しさを感じる。
	104	秋とあそぼう ～秋の森たんけんたい～	1	塚原 文枝 生坂小学校	自分の「きち」をさらに工夫して素敵な「きち」にしようと思った子どもたちが、秋へと変わってきた森へ出かけて遊び、自然の変化を感じ取りながら、森の中にあるものを使って、自分の「きち」を作り上げていった。
	105	ダンボールで つくろう！ あそぼう！	2	和田 哲郎 開明小学校	ダンボール箱で、何か作って遊びたいと考えた子どもたち。自分の作りたい建物や遊んでみたい遊具を、自分の思いや考えに沿って意欲的に作っていった。
	106	やぎさんランドを つくろう	2	野本 和幸 豊科東小学校	やぎが楽しく遊べて走れる「やぎさんランド」を作りたいと思った子どもたちが、場所決め、木材集め、設計図作り、組み立てなどの活動をしていく中で、やぎへの思いを深めていった。
	107	秋とあそぼう	2	伊藤 瑞恵 上山田小学校	年長さんに楽しんでもらうために「秋のわくわくランド」を計画した子どもたちは、秋探しで集めてきた自然物を使って友だちと協力しながら「木の家・トンネル・アクセサリ」などを作ったり遊んだりした。
	108	メイがじゆうにあるける さくをつくろう	1	牛山 俊彦 倭小学校	羊のメイのために広くて丈夫な柵を作りたいと思った子どもたち。杭をコンクリートで固定したあと、横板を打つ場面で、工夫して板を切ったり釘で打ちつけたりしながら柵を作っていった。
	109	ザリガニパークをピオトープに	2	山浦 昭男 三水第二小学校	一年生の時、地元の沼からザリガニを捕ってきて飼いだした。二年生になってザリガニの数が減り「帰す」「まだ飼って増やす」と意識が衝突したが、話し合いの結果、「生まれた環境に近づけて育てたい」となり、ザリガニパークを改善していく。
	110	空気であそぼう	2	中島 徹 塩崎小学校	塩崎地区は里山から吹き降ろす風が強い。その空気や風で遊び、それらを利用した遊びを考え空気砲を作った。空気砲の不思議さや面白さを味わったあと、グループ毎の空気砲遊びのルールを考えて試し、よりわかりやすく楽しい遊びにしていく。
	111	うえだっこ たんけんたい ～ほおばまつりをしよう～	1	中野 恭子 上田小学校	学校周辺の大道山で遊び、ほお葉と親しんだ子どもたち。「ほおばまつり」を開いて地元キャラクター福ちゃんへの手紙を発表したり、ほお葉巻きを楽しく食べたりして交流するために、まとめたコツを活用して、願い通りのほお葉巻きを作っていく。
14	112	ばんび組さんと 仲良しになろう	2	山浦 知子 佐久市立高瀬小学校	地域探検から保育園のばんび組と交流しはじめた子どもたち。「一緒に遊んでみたい」という願いをもち、一時間の交流会を計画した。交流会に向けて、ペアのことを思い浮かべながら、ばんび組さんが楽しめるように遊びを工夫していった。

113	ようこそ イキイキ 生きものランドへ	2	細田 久美子 上田市立 丸子中央小学校	自分の飼っている生きもののよさを一年生に伝えたいと願っている子どもたち。紹介したい魅力を意識したり、同じめあての友達と協力したりしながら、生きものの魅力を生かしたコーナーをつくっていく。
114	天高くあがれ ぼくたち、 わたしたちのたこ	2	福澤 俊幸 茅野市立豊平小学校	よく揚がる凧を作れるようになり、交流してきた豊平保育園さくら組のペアと一緒に凧を作りたいと願った子どもたち。進んでペアにかかわり、凧の作り方を分かりやすく伝えながら作っていく。
115	みんなのすべり山 あそびばランド	2	横山 眞弓 中川村立中川東小学校	すべり山に楽しい遊び場を作った子どもたち。友達ともっと遊びたいと願い、スリルのある遊び場を作ったり自分が入れる居場所を広げたりして、楽しさを味わいながら遊ぼうとした実践。
116	大ずばたけは、ゆめいっぱい	2	河西 勉 阿智村立 阿智第二小学校	地域のお年寄りの協力を得ながら育てた大切な大豆を使って、自分たちの豆腐を作りたいと願った子どもたち。自分たちで調べたり、地域の方に教えていただいたりして、友達と協力しながら自分たちの豆腐を作っていた。
117	もりに つくろう わたしたちのもりの町	2	馬場 美穂 松本市立本郷小学校	森に「もりのこびとの町」を作りたいと願う子どもたちが、どのように作るのか友達と語り合い、それにあう材料を選んで工夫して作ったり、森に暮らす人になりきったりしながらひと・もの・ことへの見方、考え方を深めようとした実践。
118	うさぎとなかよし ～うさぎの赤ちゃんと もつとなかよしになろう～	2	矢口 淳子 大町市立大町南小学校	うさぎのリボン・サクランボの赤ちゃんの出産に立ち会った子どもたちが、生命の尊さを感じ、うさぎへの気付きを友達と共有しながら、より大切に育てることができるようになることをねらっておこなった実践。
119	年長さんとあそぼう ～二くみのダンボールひろばに 招待しよう～	2	桑原 文彦 坂城町立坂城小学校	年長児をよるこばせたいという願いから生まれた活動で、25名の子どもたちがグループごとに話し合い、作るものを決め、道具や材料を用意し、段ボールの特徴を生かし工夫をこらした段ボール広場を作りあげた。その広場で年長児と楽しく活動した温かい実践。
120	手作り太鼓で楽しもう	2	三浦 明宏 須崎市立旭ヶ丘小学校	アフリカの太鼓サークルの方々と交流した子どもたちは、牛皮（犬用のフリスビー型ガム）と大型の空き缶、ロープを使って、友達と協力しながら自分だけのマイ太鼓を作った。叩き方を工夫し、音色を楽しみながら、太鼓で友達と楽しく遊ぶ子どもたちの実践。
121	元ちゃんわくわくランドを つくろう	2	児玉 志津子 山ノ内町立北小学校	五月。五人のクラスにモルモットの「元ちゃん」がやってきた。子どもたちは、「元ちゃん」のためにレストランを開いたり大きな家を手作りしたりしてお世話をした。さらに、臆病な「元ちゃん」ともっと一緒に遊ぶための遊び場を作る中で、動物への理解と思いを深めていく実践。
122	にこにこやさいまつり	2	比田井 亜紀 長野市立城東小学校	野菜を育てるために自分たちで作った畑の名前は「にこにこやさいばたけ」。かかしを作ったり水やりをしたりしてお世話した野菜が次々に収穫を迎える。「にこにこやさいまつり」では、来てくれるお客さんにたのしんでもらうための料理やゲームを考え、試行錯誤していく子どもたち。

	123	とうふづくりをマスターしよう	2	大塚 香 松本市立波田小学校	農村生活マイスターさんに教えてもらってできたおいしい豆腐。でも、「豆腐屋さんをやるには、自分たちで作れなきゃ。」翌週にやってみたら、「やり方が分からない・・・。」もう一度作り方を教えてもらう日、子どもたちの目はマイスターさんの小さな動きも見逃さない。
	124	五ー米を作って食べよう	5	宮澤 暁生 木島平村立 木島平小学校	初から育てすべて手作業でやりぬいたこだわりの自分たちの「五ー米」。140.1kgのみすりに挑む中で手作業の限界を実感し、機械を使おうか考える場面がやってきた。今までがんばって手作業でもみすりをしてできた12.5kgの米をいよいよ炊いて食す時がきた。さてその味は.....。
15	125	タンポールの達人になろう	2	堀池 澄江 小諸市立 美南ガ丘小学校	身近な環境に思う存分はまり込める場を見つけた子どもたち。その名は「タンポール」。トンボ、ドングリ、イナゴ、ドジョウと溢れんばかりの興味の地に「共有の夢」を抱き、五感を総動員していく中で見つけていく「対象の習性」とは...
	126	二年二組わくわくたんけんたい	2	三浦 江梨 上田市立東小学校	「北沢の森」を一年生も楽しめる遊び場にしたいと考えた子どもたち。ジャングル山登りやすべり台、ロープや藤づるを利用してのターザンごっこ。ブランコやシーソーを作って遊園地のようにするなど、豊かな自然を利用して、夢中になって遊びを工夫していった。
	127	なしくぼいせきであそぼう	2	杉山 香織 岡谷市立長地小学校	日頃から地域の子どもたちに親しまれている梨久保遺跡。一年生の頃ここで秋探しをした子どもたち。「今年は梨久保の川でも遊びたい」と出かけていった。そこで、川遊びはもちろん、地形や自然物を利用しながら、夢中になって遊びに浸っていった。
	128	なかよし とちの木 ～とちの実 青空クッキング～	2	伊東 美春 南箕輪村立南部小学校	開校当時植樹され、子どもたちとともに生長してきたとちの木。その木に愛着を持つ二年生。地域の方と協力しながら「とちの木ハウス」を作ったり「とちの木ランド」をオープンさせたりして楽しんできた。そしていよいよとちの実を食べることに・・・。
	129	やすおかのたからもの 「こんにやく」	2	村松 陽子 泰阜村立泰阜小学校	かつては村の九割ぐらいがこんにやく畑だった泰阜村。「泰阜の宝物」を学習してきた二年生が、地域の方に教えていただきながらこんにやく作りに挑戦！その活動を通して、地域の方の技のみごとさや優しさに気づく。
	130	おたのしみランドであそぼう	2	山田 大 松本 朝恵 上松町立上松小学校	運動会をきっかけにして、もっと一年生と交流したいと願った二年生の子どもたち。「遊びの達人」系の提案をもとに、一年生とも一緒にゲームを工夫しながら、「おたのしみランド」で楽しく交流していく。
	131	そめもの名人になろう ～あいぞめをたのしもう～	2	増田 紀子 塩尻市立桔梗小学校	絵の具で和紙の折染めを楽しんだ子どもたちは、藍染めに興味を持ち、自分たちで藍を育て始めた。タンポポやコーヒー・タマネギを使った染め物にも取り組み、いよいよ藍の収穫。それまでの経験を生かし、藍を使って染めたハンカチをお家の人にプレゼントしようと取り組んでいく。

	132	かもさんカルタをつくろう	2	牧野 豊 松本市立源池小学校	一年生の二学期から二羽のアイガモと生活してきた子どもたち。二年生になり、もっとアイガモと仲良くなりたいと考え、誕生会を開いたり「かもさん絵日記」を書いたりすることを通して、アイガモへの思いを深めてきた。さらにアイガモとの暮らしをカルタにしようと取り組んだ。
	133	大豆りょうりの名人になろう	2	宮島 綾子 安曇野市立穂高南小学校	ずんだもち作りで「あれ？しょっぱいぞ」「どうしたらいいんだろう」と立ち止まる子どもたち。自分が納得のいくものを作りたいと「自分たちの枝豆で作るホットケーキ」に挑み出す。枝豆の量、つぶし方、焼き方を考え、味わいを深めていく実践。
	134	「一年生となかよし」 ～一年生と秋まつりをしよう～	2	西脇 希 千曲市立埴生小学校	「一年生となかよしタイム」で楽しく遊んで仲良くなった子どもたち。秋まつりにむけてペアの一年生と遊ぶものを決めていく。おみこし・ししまい・きんぎょすくい・やきそば・たこやきなどの屋台を作るために、身の周りから材料を集めて遊ぶもの作りを行なった実践。
	135	げんきにそだて わたしのあさがお	1	須藤 克昌 山ノ内町立西小学校	二年生からもらったあさがおさんの種。あさがおさんの生長と共に起こる切実な問題を解決しようと、それぞれが考え対象に働きかけを行ってきた子どもたち。秋になり元気がなくなってきたあさがおさんのために、さらに自分ができようことを考え、行動しようとした実践。
	136	のりもの遠足 ～みんなで楽しく遊びに行こう～	2	清水 令子 長野市立篠ノ井西小学校	乗り物に乗って、いつもと違うちょっと遠いところまでみんなで行き、そこで楽しく遊んできたいと、「のりもの遠足」を計画した子どもたち。学校を出発して、乗りたい電車に乗るためには、速く切符を全員が買わなくてはいけないと、切符を速く買う工夫と練習を始めた・・・。
	137	こころちゃんのおうちを もっとすごしやすくしよう	1	小川 浩貴 諏訪市立高島小学校	やぎのこころちゃんとの生活を続けてきた子どもたち。こころちゃんのおうちを過ごしやすいものにするために、友だちと共に工夫し、試行錯誤しながら、こころちゃんの動きや習性に合わせたしつらえを考えようとした実践。
16	138	やぎさんとなかよし	2	酒井 啓喜 佐久市立岩村田小学校	五月、子どもたちはやぎさんとの暮らしを始めた。九月、ウキちゃんのおなかに新しい命が宿ったことを知った子どもたちは、ウキちゃんが安心して出産できるよう準備したり、やぎさんランドの設えを整えたりしながら、自分を振り返り、やぎさんへの思いを深めていこうとした。
	139	年長さん、いっしょにあそぼう	2	村松 祐次 東御市立北御牧小学校	保育園の年長さんを学校へ招待し一緒に遊びたいと願った子どもたちが、自分たちで遊びを考え、年長さんが喜んで遊んでくれるようロケットや魚釣りなどの遊びを作ったり、遊び方のルールを考えて練習したりしながら、相手意識を持って楽しく活動しようとした。

140	ぼくたちわたしたちの ふしぎなゆめランドであそぼう	1	小口 真太郎 富士見町立本郷小学校	学校の近くの自然豊かな林を「ふしぎなゆめランド」と名づけた子どもたち。草花や木の実で遊んだり、木登り・川遊び・基地作りをしたりすることを通して、友だちと一緒に遊んだり、自然の中で遊んだり作ったりするよさや楽しさに気づいていく子どもたちの実践。
141	うさぎさんこうえんを なおそう 大きくせん	2	青柳 史子 松本市立島立小学校	二年生になって飼い始めたうさぎに愛着を持つ子どもたち。脱走や「ミステリー」を体験する中で、うさぎを安心して放せる「うさぎこうえん」にしようとして動き出す。組ごとに分担した仕事に取り組み、困難を乗り越えながらうさぎが過ごしやすいこうえんを目指す。
142	おいしくできたよ！ ぼくのわたしのごへいもち	2	長尾 恭照 伊那市立 西春近北小学校	ヨモギを使ったお菓子作りに取り組んだ子どもたちが、次なる挑戦として「ごへいもち」を選んだ。「たれの味や焼き加減」を工夫して三回目に取り組んでいく…。授業を作っていく過程で必ずや出合う教師の立ち止まりや悩みが子どもと呼应していく…私たち自身に問える実践。
143	楽しいぞ、ぼくらの山本竹まつり	2	福島 良二 飯田市立山本小学校	地区探検で見つけた竹の林。山本地区に多く生えているこの素材を使って何か楽しいことができないかと考えた子どもたち。竹ん玉や輪投げなどいろいろな遊びをし、更に工夫を重ね自分の願いにあったおもちゃ作りを進めていった実践。
144	ぼくらのひみつきち	1	小林 亜由子 安曇野市立 穂高北小学校	おばけこうえんをつくって遊びたいと考えた子どもたちは、枝葉や草、砂などの自然の材料や、日も、布などの身近な材料を使って北小の森にしかけやかざりを作って、みんなが楽しめる公園にしていた。作ったものは早速友だちに試してもらい、良さを認めあった。
145	こどもの森のがっきやさん	2	竜田 史朗 坂城町立村上小学校	トチ笛を作り、音を出して遊んだ子どもたちは、もう一度作りたいと願うようになった。自分が作りたい笛のイメージをもちながら、トチの実の形や大きさ、色などを考えて材料をえらび、一回目よりも大きく、きれいな音が出るよう意欲的に笛作りに取り組んだ。
146	おもちゃをつくってあそぼう	2	岸田 友梨 須坂市立井上小学校	一年生が楽しく遊べるように、ペットボトルや牛乳パックなど身近な材料を使っておもちゃをつくったり、遊び方を考えたりしていく子どもたち。そして、子どもたちは、一年生が遊んでいる姿から、自分自身の成長やよさ、友だちのよさに気づいていく。
147	たのしいおつきみをしよう	1	太田 さつき 中野市立科野小学校	「自分たちの秋の節句をしたい」と願った子どもたちが、秋の実りへの感謝の気持ちを持ち、木の実や草花、虫とかかわり秋を体で感じながら、お月見の用意をしてクラスでお月見を楽しむ。さらに、全校でも楽しめるお月見を考え、全校のみなさんを招待した実践。

	148	ここにこくみランドへようこそ	2	菅沼 純子 長野市立古牧小学校	一年生に楽しんでもらえるゲームを作りたいと願った二年生の子どもたち。魚釣り、輪投げ、的当て、割り箸鉄砲など手作りのゲームを試しながら仕上げていく過程で生まれる友の関わりと試行の連続…。教師自ら率先し、体験する中で子どもの足取りを思い描いていった実践。
	149	ぼくの わたしの 2年1組の森	2	柳沢 奈美 坂城町立坂城小学校	中庭の一部に、「虫ランド・鳥のふれあい広場・基地」を作って「2年1組の森」を完成させた子どもたちは、夏、「おばけやしき」を作って1年生を招待した。秋、全校児童を招待する「秋祭り」を計画し、自分たちで集めた材料を使って、祭りで使うものを楽しく作っていった。
17	150	凧々子をそだてよう	2	大畑 幸亮 川上村立 川上第一小学校	畑を十五等分して凧々子(トマト)を一人一人育てた子どもたち。病気や困難を乗り越え、収穫の時を迎えます。生でもジュースでも思ったような味ではなかった凧々子に「ごめんね」と書いたり、最後まで食そうとしたりします。凧々子の立場になって、美味しく使い切っていきます。
	151	ゆうすげのさとであそぼう	1	吉澤 圭吾 櫻井 貴美子 上田市立塩尻小学校	学校の近くにある「ユウスゲと蝶の里」に繰り返し出かけて行った子どもたちは、虫捕りや花摘みをしながら自然のおもしろさや不思議さに気づいていきます。また、ターザン・ブランコ・なわばしごを使ったりして、みんなで遊びをつくり楽しんでいきました。
	152	ドキドキわくわく ぼくらの丸山	2	荒井 知香 茅野市立米沢小学校	四季折々の楽しみを提供してくれる丸山。そこを駆け回っていた子どもたちは、木やトタン、ブロックなどを使って秘密基地やジャンピング滑り台などの「自分たちの遊び場」をつくり出しながら、丸山の自然への思いを深めていきました。
	153	わくわくしぜんワールドであそぼう	2	小林 美実 南箕輪村立 南箕輪小学校	学校の東に広がる林は、自然が豊かな場所であり四季折々の生き物や植物に出会えます。泥沼で板の上を滑って遊んだり、木の実を使ってレストランごっこをしたり、林のものをつかって友だちと楽しくつくったり遊んだりして自然の中でくらす喜びを味わっていきました。
	154	ぼくたち わたしたちの大豆さん ～めざせ！長田屋商店のお豆腐～	2	八木 麻子 阿智村立 阿智第三小学校	自分たちが育てた大豆で豆腐を作りたいと願い、大豆を育てた子どもたち。できた大豆で豆腐をつくるものの、目標としている地元の長田屋商店さんようになめらかな豆腐になりません。長田屋商店の小池さんとかかわりながら、納得する豆腐を目指して繰り返し作っていきます。
	155	食べて作って！発見！朝日の秋	1	竹前 良彦 朝日村立朝日小学校	散歩に出かけ、栗やどんぐり、まつぼっくりなど秋が感じられるものを見つけた子どもたち。それらを食べたり、それらで遊んだりしたいと考え、教えてくれる地域の方を探しました。そして、地域の方に教えていただきながら、食べたり、作ったりして秋を感じていきます。

	156	とばそう！ ぼくのわたしの 手づくりひこうき	2	高木 ゆり恵 松本市立鎌田小学校	ものづくりが大好きな子どもたち。ロケット作りと船作りに満足した子どもたちは続いて飛行機飛ばしに夢中になります。羽の形や位置、重り、中心の割りばしの長さなどを変えて、もっとよく飛ぶ飛行機に仕上げていきました。
	157	わくわく パラダイス ～ 1にしおもちやさん～	1	若林 綾美 池田町立会染小学校	算数の「形」学習から、空き箱や段ボールを使っているいろいろなものを作り始めた子どもたち。身の回りのいろいろなものを取り入れて、さらに活動が広がります。家、車、ビー玉迷路、かき氷、船にこまといったものを、工夫したり試したりして楽しいパラダイスが出来上がり！
	158	一ねん二くみの どんぐりパーティーをしよう	1	安楽 由実 千曲市立東小学校	通学路や学校の敷地内を『さんぽ』する中で見つけたどんぐりやすずき、くずで、おうちの人と一緒にあきパーティーを楽しみたいと願った子どもたち。グループごとに、もっと楽しくなるポイントを考えて友だちと相談しながらおみせの準備を行い、パーティーの成功を目指します。
	159	ぼく わたしの ひみつきち	1	中村 大 栄村立栄小学校	学校近くの森の中で、自分のひみつきちを作り始めた子どもたち。ハンモックやターザンロープ、海賊船ごっこや武器や遊びなど、やりたいことを思いっきり遊ぶ中で、友だちの願いや良さをお互いに認め合っていきます。担任が自分のことを記した『大ちゃん日記』も、貴重な実践の一部になっています。
	160	夜、お月見をしよう	2	中村 深志 長野市立裾花小学校	「夜、河川敷にみんなで集まってお月見をしたい」と願った子どもたちが、自分のやりたい活動を明確にさせて取り組んだ活動です。団子の固さに気づいたり、里芋やすきを飾る台を作ったり...子どもたちが自分のやりたいことにこだわった実践です。
	161	たんけんにいこう ～ あきがいっぱい～	1	青柳 史子 豊科町立豊科南小学校	夏の初めから、学校の横を流れる百石堰に繰り返し探検に出かけた子どもたち。季節が変わっても、百石堰へ探検に行き続けます。そこで出合う「もの」「こと」を見つけたり、かかわったりしてやりたいことに取り組み、秋という季節や自然に身を置く楽しさを味わっていきます。
18	162	『林ランド』で遊ぼう	2	大畑 幸亮 川上村立 川上第一小学校	一年生の時から、校庭北側の学校林「林ランド」で遊びこんできた子ども達。二年生になって、今年みんなで大きいものをつくりたいと願い、「おうち」づくりに取り組みました。一学期の終わりに完成した「おうち」を、もっと楽しく過ごしやすいしようと、工夫を加えています。
	163	うら野川であそぼう	2	吉池 直樹 軽井沢町立 軽井沢西部小学校	学校のすぐ裏にある浦野川が大好きな二年生。一年生の八月から何度も通い、自由に遊び、「今度はこれがしたい」と願いを実現してきました。そんな中、Tさんの「みんなでいかだをつくってみたい」というつぶやきから、材料の追究、川でのコース決め、そして班対抗いかだレースへ。

164	花まるこなみさんに かんしゃのおくりものをしよう	2	宮下 恵理子 青木村立 青木小学校	色水遊びから草木染めに興味を持ち、より濃く染めようと試行錯誤する子どもたち。草木染めのプロ花まるこなみさんに教えていただいたことで濃く染まり、感謝の思いが膨らみます。花まるこなみさんとの交流を通して、子どもたちががっかり合うことの喜びに気付いていく実践です。
165	大豆 大じ 大作せん ～豆ふにへんしん～	2	吉池 有希 諏訪市立 湖南小学校	育ててきた大豆を何に変身させるか資料を集めてきた子どもたち。話し合いの結果、まず「豆腐」を作ろうと決めました。豆腐屋さんや友だちに教えてもらったコツを生かして二回目の豆腐を作ります。自分たちの作りたい豆腐を追究していく実践です。
166	お母さんになる わたしのミミちゃん	2	春日 利香 飯島町立 飯島小学校	五月から生活を共にしている羊のミミちゃんがお母さんになるという。子どもたちは大切なミミちゃんがお母さんになるため、獣医さんのお話を聞き、掃除やえさ、体重など、ミミちゃんにしてあげられることを考えます。
167	二年二組 ゆめ見る合唱団 ～妙義保育園へ行ってコンサートを 開こう～	2	田畑 隆太郎 飯田市立 竜丘小学校	自分たちの歌声に自信をもった二組は合唱団を結成しました。その名も「ゆめ見る合唱団」。聞いている保育園の人をハッピーな気持ちにしようと、曲を選び、手遊びや歌、体操を取り入れたプログラムを決めていきます。
168	ヤギさんと いっしょ ～ヤギさんとのくらしを はじめよう～	1	松田 歩 塩尻市立 洗馬小学校	ヤギと共に生活する中でヤギへの思いが深まり始めた子どもたち。ヤギの様子や特徴を参考にしたり、どのように世話をするかを考えたりすることを通して、ヤギが喜ぶ住みよい環境を考えながら小屋や広場を作っていく実践です。
169	もっとおいしい 手作り きな粉をつくらう	2	小玉 尚宏 坂城町立 南条小学校	昨年、枝豆を収穫できず、今年こそは収穫して何か作りたい願う子どもたち。きな粉作りに決まった後、「おいしいって、どういうきな粉なのか」を真剣に考えてきました。そんな子どもたちのこだわりと願いがたくさんつまったきな粉づくりの実践です。
170	サブグラウンドに、 一年生の遊び場をつくらう	1	西澤 澄子 須坂市立 高甫小学校	校庭横のサブグラウンドと呼ばれる芝生に、一年生のなかよし遊園地を作り始めた子どもたち。おうちや遊び場、お店屋さんなど、自分がやりたいと思ったことに取り組む中で、友だちの願いや工夫を感じ取り、遊び場づくりそのものを楽しんでいました。
171	大きなカボチャになってね ありがとうの気持ちをこめて	2	村松 直昭 飯山市立 泉台小学校	ジャンボカボチャを作り、コンクールの優勝を目指す子どもたち。カボチャ作りのプロの支えもあり、立派なカボチャを作ることができました。感謝の気持ちを伝えるためにありがとうの会を開きます。自分たちの感謝の思いが伝わるように発表の準備を進めていきます。
172	ようこそ 年長さん ～年長さんといっしょに 外たんけんしよう～	1	澤田 房子 丸山 陽平 小川村立 小川小学校	音楽会に招待したことから始まった一年生と年長さんとの交流。年長さんと一緒に楽しむこととして「川遊び」「生き物探し・お花摘み」「みんなで遊ぶ」「遊具遊び」を決め出しました。そして、年長さんの気持ちを考えたり会話をしたりしながら、遊びを工夫し共に楽しんでいきました。



19	173	じゃぼり川の秋	2	三本木綾子 大工原いずみ 小諸市立 野岸小学校	1年生でとことん通った「田んぼ」から、「もっと遠くへ行ってみよう」という願いを持ち、「蛇堀川」と思う存分かわり続ける2年生。一人一人の育ちを見つめる実践。
	174	なかにわであそぼう	1	金井 典子 上田市立 西小学校	中庭で遊ぶことの大好きな子どもたちが、葉っぱのジュース屋さんを開いたり、土を掘って川を作ったりしながら、みんなが楽しめる遊び場を作っていた実践。
	175	グリさか たんけんたい	2	小林良太郎 富士見町立 境小学校	4月から通っているグリさか（敷地内の遊び場）。そこで見つけたドングリや松ぼっくりをつかって、1年生のためのお店屋さんの準備をする実践。
	176	むぎさんといっしょ ～めざせ！ おいしいハナマンテンうどん～	2	田中 由里 駒ヶ根市立 赤穂小学校	自分たちが育ててきた地域の小麦「ハナマンテン」でおいしいうどんを作ろうと、小麦粉に思いを込め、のし、切り、ゆでます。
	177	みんなでつくろう！ 3くみしまい大きくせん	2	藤巻 智哉 飯田市立 鼎小学校	地域に伝わる獅子舞を保存会の方々に見てもらい、治部歌地の表現のよさや課題に気づきながら友だちと動きを工夫していく実践。
	178	わすれないよ ぼくの わたしの あさがおさん	1	佐藤 恵理 安曇野市立 三郷小学校	たたき染めや染め出し、リース作りなどの活動から、自分の思いが詰まったあさがお作品を紹介したり、友だちの作品のよさに目を向けたりしながら、あさがおに対する思いを深めていく実践。
	179	SUN3 フェスティバルへようこそ！	2	高山 裕美 松本市立 清水小学校	相手意識をもって人とかがわる楽しさに気づいてほしいという願いの元、昨年度活動した3年生からアドバイスをもらいながら1年生が笑顔になるように工夫していきます。
	180	しゃぼんだまとあそぼう	1	宮崎 のり子 中野市立 高丘小学校	「自分の作りたいしゃぼんだま」の願いをもち、新たに道具作りに挑戦したり、ストローで早くふいたり絵の具をつかってみたりする実践。
	181	あさがおさん いつまでも いっしょだよ	1	峯村 侑 長野市立 昭和小学校	あさがおとの思い出を残すために、絵本やうちわ、灯籠を作っていく中で、あさがおと過ごしたことを思い起しながら、あさがおへの思いを表現していきました。
	182	小田切川であそぼう	1	石坂 凜人 宮田村立 宮田小学校	自分たちのいつもの川「小田切川」で、思う存分水に触れ、舟遊びをしたり、生き物をさがしたりして、思い切り楽しみます。
183	デイサービスのみなさんと 仲よくなりたいな	3	糊澤 紀久子 南相木村立 南相木小学校	これまでのデイサービスの方との交流を振り返り、10月の運動会交流がよりよい内容になるよう友と意見を交わして考えていく実践。	
184	トウモロコシで叶えたい 夢と希望を考えよう	全校	全職員 上田市立 菅平小学校	トウモロコシを育て、販売しながら、夢と希望を考えてきた子どもたち。みんなに喜んでもらえる夢こそが大切だと考え、実現に向けて活動していく実践。	

185	なごみの家のおじいさんと おばあさんと笑顔で過ごそう	5	富本 智子 飯島町立 七久保小学校	自分たちが交流を深めているおじいさんおばあさんのことをもっと学校の友達にも知ってもらうにはどうしたらいいか。5年生が真剣に人と向き合い考えていく姿が伝わります。
186	ありがとうパーティーを開こう	3	伊藤 須美子 木曾町立 開田小学校	試しに食べたり遊んだりすることを繰り返す中で、相手に喜んでもらうにはどうしたらよいか考えながら、パーティーの準備を進めていきました。
187	みんなのえがおの オアシスパークプロジェクト	3	宮入 新太郎 松本市立 並柳小学校	オアシスパークの掃除を続けてきた子どもたち。池を作った人や当時の先生たちの話を聞くことを通して、今後更に自分たちにできることを考えていく実践。
188	高山村ツアーガイドになろう ～高山村応援団～	6	佐々木 務 高山村立 高山小学校	わたしたちが住む美しい高山村の魅力を伝えようと、自分たちで考えたツアーをさらによりよいものにしようとして討議します。
189	ホトケドジョウを自然にかえそう	4	降旗 巖 中野市立 長丘小学校	ホトケドジョウについて観察や調べ活動に取り組んできた子どもたちが、ピオトープで飼育するために、どう環境を整えればいいのかを考え、ホトケドジョウを守っていく実践。
190	新しい遊具を作ろう	4	北澤 公浩 長野市立 南部小学校	活動計画をデザインしたり、材料費のためクラフト製品を販売したり、全校が楽しめる遊具にするため飯綱に行ったりと、「子どもとともに歩む」ヒントがぎっしりの4年生の実践。
191	働くことはどういうことだろう	2	北沢 康孝 岡谷市立 岡谷南部中学校	生徒が主体的に働くことへの価値を見つけ出す場としての職業体験するにはどうしたらいいか。自分の職業観を見つめ友と語り合う中で目標をもって体験に向かう生徒たちです。
192	相手も自分も、幸せになれる福祉交流	2	小島 康弘 豊丘村立 豊丘中学校	福祉施設の利用者に接する自分の姿を振り返り、施設の方のアドバイスを聞く中から、相手の姿に思いを寄せた交流とはどういうことか一人一人が考えていきました。
193	東北訪問のまとめをしよう	3	井出 宏幸 塩尻市立 檜川中学校	東北訪問を振り返り、総合発表会の内容を考えることで、被災地で生きる人たちの様々な思いや自分が暮らす地域に深い愛着があることに気づいていく実践。
194	地域共に生きる ～地域のために自分が できることを考えよう～	3	古屋 岳彦 大町市立 仁科台中学校	ふるさと『大町市』のために、自分たちができることを「音楽・福祉」「保育」「小学校」のチームに分かれアドバイスし合う実践。
195	15歳のあこがれ ～今私が目指す、等身大のヒーロー～	3	中村 和孝 長野市立 裾花中学校	先輩の話や高校見学を通して、なりたい高校生像を抱き、これからの進路やその実現に前向きなイメージをもつことをねらった実践。
196	知ろう！体験しよう！ より良くしよう！宮田村	全 校	全職員 宮田村立 宮田中学校	中学生が全学年でふるさと「宮田村」を見つめ、村の人と関わり、村のことを調べ体験し、地域の中で自己を見つめる実践。